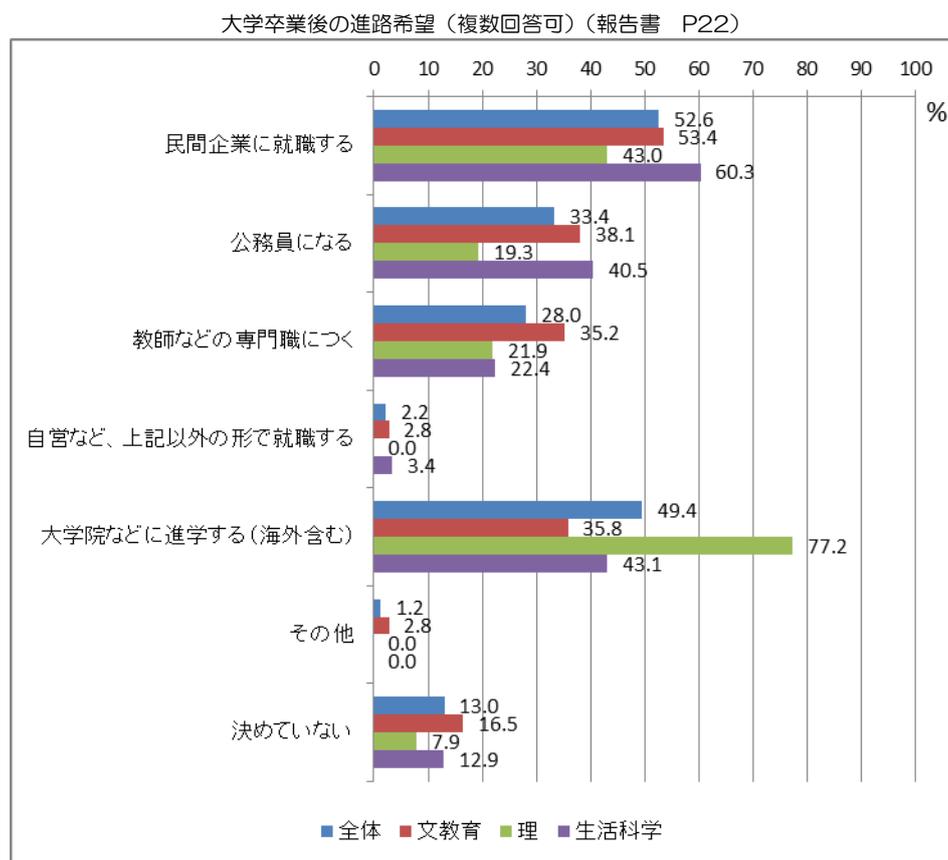


平成25年度「新入生の生活に関する調査」

第3回 「大学卒業後の進路展望と保護者の関与」

1. 「民間企業就職」「大学院などへの進学」希望者がおよそ半数

本学の新入生は、大学卒業後の自身の進路について、どのような希望をもっているのでしょうか。



全体で見ると、「民間企業に就職する」が52.6%、「大学院などに進学する（海外含む）」が49.4%でした。ただし、「大学院などに進学する（海外含む）」は、理学部77.2%に対して、生活科学部や文教育学部は4割程度であり、学部による差もみられます。「公務員になる」「教師などの専門職につく」が3割程度でそれに続いています。

また、「決めていない」は全体の13.0%に過ぎないことから、本学の新入生は、大学入学時点で、卒業後の進路について、ある程度の希望を持っている学生が多数であることがわかります。この傾向は理学部で目立ちます。

2. 正規雇用で、最初の就職先に長く勤めたい

では、本学の新入生は、大学卒業後の就職について、どのような考えをもっているのでしょうか。「卒業後の就職」「就職後の勤務・退職」「卒業後・就職後の大学院進学」といった側面からみていきましょう*。

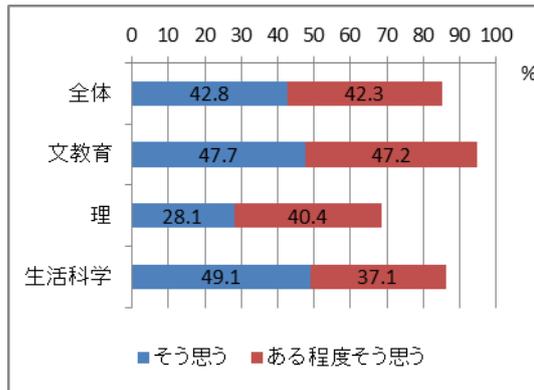
* 「大学卒業後のキャリアについての考え」に関する9項目について3件法で尋ね、その該当率（「そう思う」＋「ある程度そう思う」）を示した結果を図示しています。

(1)「卒業後の就職」についての考え (報告書 P22-23)

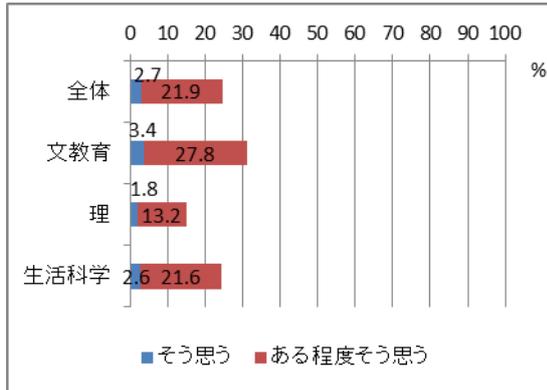
「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」が全体の8割を超える一方で、「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」「資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない」「卒業後すぐには就職しなくてもよい」は2~3割にとどまっています。この傾向は昨年度も同様に示されています。

学部別にみると、理学部では「すぐに就職して正社員・正規の職員になる」「すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない」が他学部比べて低く、「卒業後すぐには就職しなくてもよい」が高い傾向がみられます。この傾向も昨年度も同様にみられたものです。

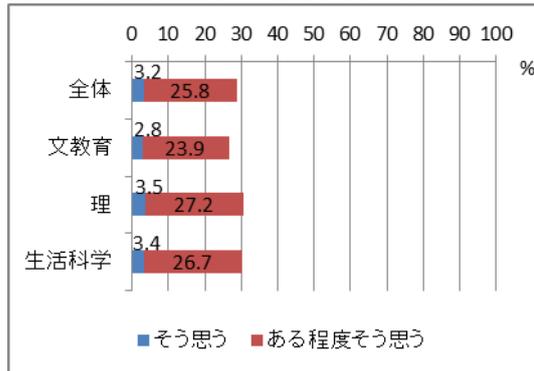
すぐに就職して正社員・正規の職員になる



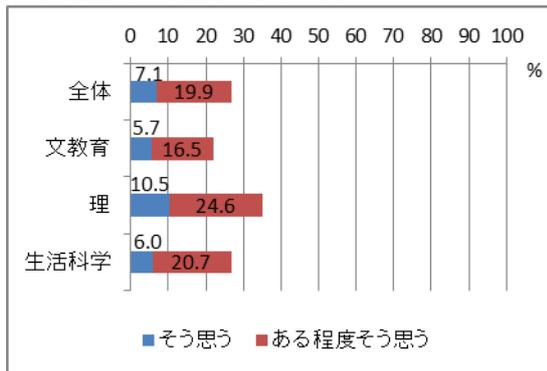
すぐに就職するが正社員・正規の職員に拘らない



資格試験・公務員試験などに合格するまで就職しない



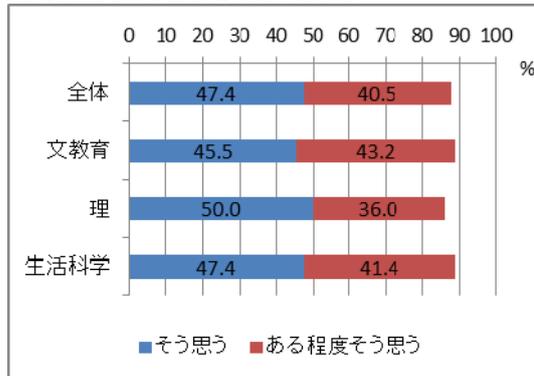
卒業後すぐには就職しなくてもよい



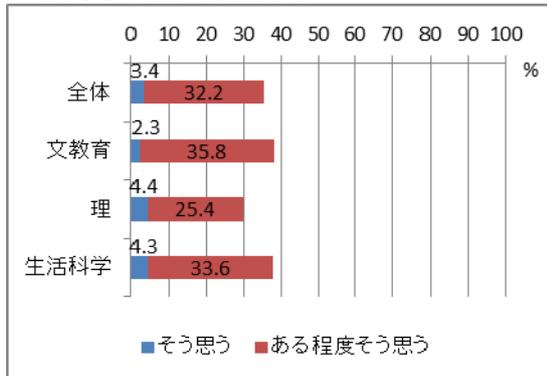
(2)「就職後の勤務・退職」についての考え (報告書 P23-24)

「最初の就職先にできるだけ長く勤める」は全体のおよそ9割に及んでいます。その一方で、「何年かして転職や独立をする」「結婚・出産したら仕事をやめる」は3~4割にとどまっており、「そう思う」との回答はいずれも極めて少数であることも示されています。これらの傾向は、昨年度も同様に示されています。

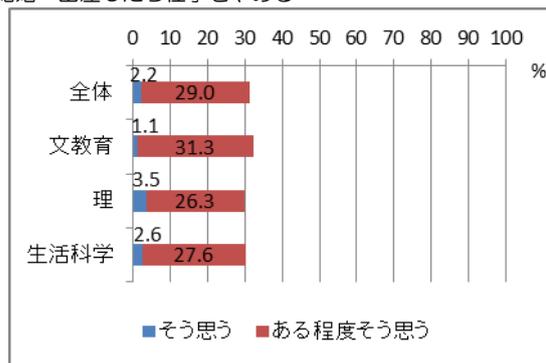
最初の就職先にできるだけ長く勤める



何年かして転職や独立をする



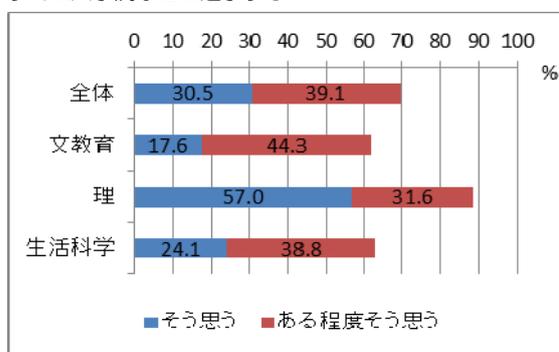
結婚・出産したら仕事をやめる



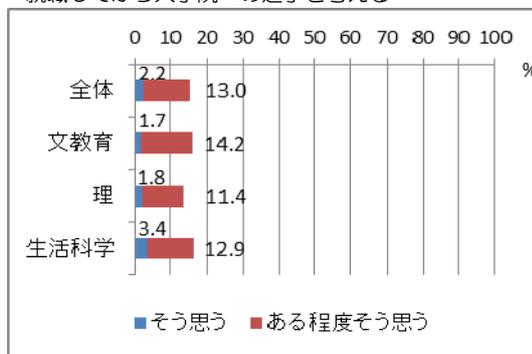
(3)「卒業後・就職後の大学院進学」についての考え (報告書 P24)

「すぐに大学院などに進学する」は、全体のおよそ 7 割ですが、理学部は他学部比べて明らかに高い結果となっています。一方、「就職してから大学院への進学を考える」は、学部による大きな差はみられず 1 割程度です。これらの傾向は、昨年度も同様に示されています。

すぐに大学院などに進学する



就職してから大学院への進学を考える



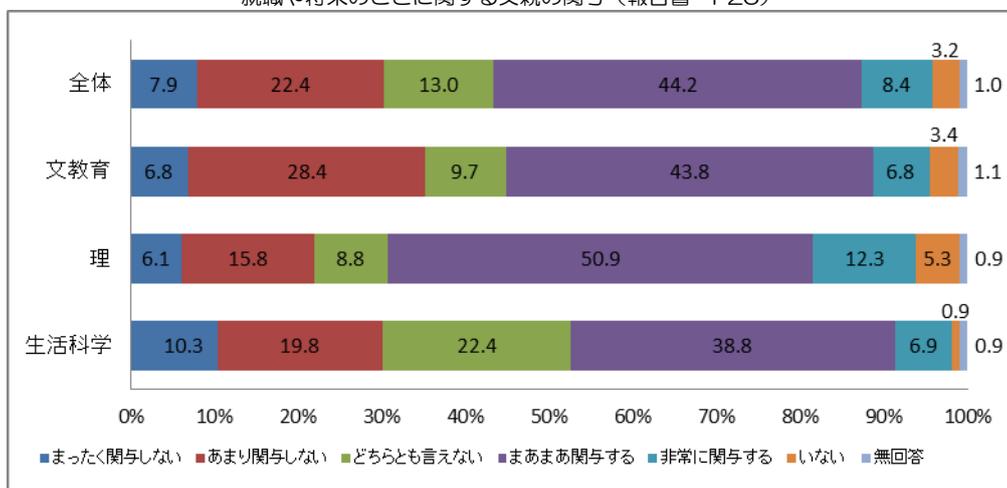
3. 半数の父親、2/3の母親が、子どもの就職や将来の進路に関与

さいごに、本学の新生の就職や将来の進路について、両親がどの程度関与しているのかについてみていきましょう。

まず、父親の関与について尋ねたところ、52.6%が「非常に関与する」または「まあまあ関与する」と回答しています。この結果は昨年度も同様に示されています。

ただし昨年度は学部による大きな差はみられませんでした。今年度は理学部の新生の父親の関与が目立ちます。

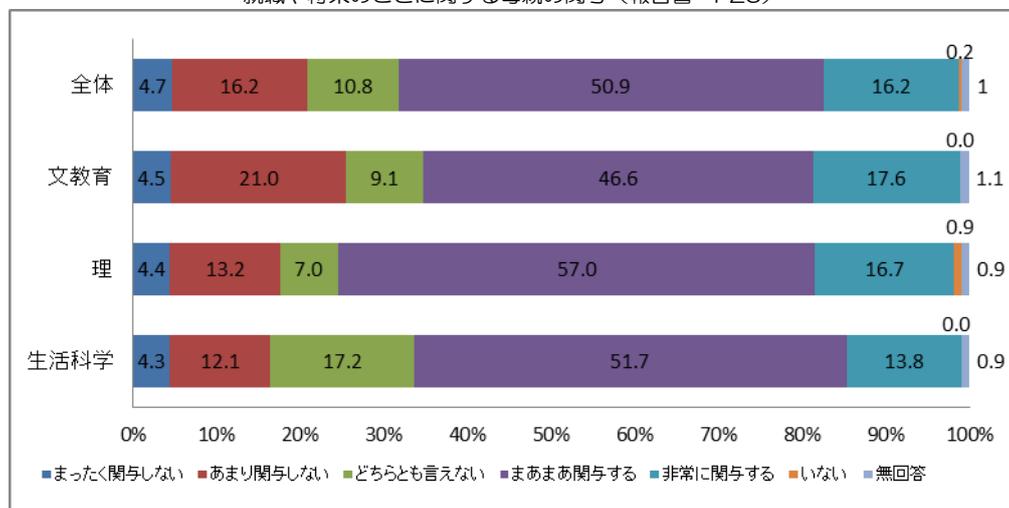
就職や将来のことに関する父親の関与 (報告書 P25)



同様に母親の関与についても尋ねたところ、67.1%が「非常に関与する」または「まあまあ関与する」と回答しています。この結果は昨年度も同様に示されています。

ただし昨年度は学部による大きな差はみられませんでした。今年度は理学部の新入生の母親の関与が目立ちます。

就職や将来のことに関する母親の関与（報告書 P25）



次回は、
「どのような新入生と保護者が
奨学金を認知・希望しているか」
について、ご報告します。



「学生・キャリア支援センター*Research Report*」としてその一部を紹介いたします報告書は、学生・キャリア支援チーム（内線2646、gakusei@cc.ocha.ac.jp）で冊子を手入手できるほか、TeaPotからもPDF形式でダウンロードいただけます。

(<http://teapot.lib.ocha.ac.jp/ocha/handle/10083/53912>)